



1年
鵜澤 一平くん

※ぼくはさかな
がだいすきな
んだ。なまえ
もぜんぶいえ
るよ。



『すきなもの
なあに』

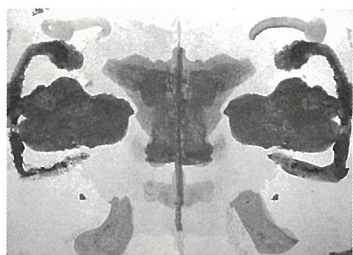


2年
伊藤 開くん

※この服、ぼく
に合ううでし
よう。
(写真のぼく
とにてる?)



『ぼくのしょうかい』

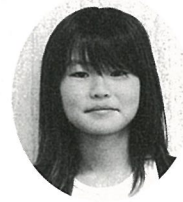


『まっちょまっちょくん』



3年
椎名 則夫くん

※画用紙で絵の
具をはさんで
できた形から
そっぞうして
かきました。



4年
向後 美咲さん

※お手本をよく
見て、「曲が
り」や「はね」
の筆使いに気
をつけて書き
ました。



4年
小倉 綾峰さん

※「曲がり」に
気をつけて形
を整えながら
書きました。



5年
椎名 菜有さん

※「美」という
字のバランス
をとるのがお
ずかしかった
です。



6年
若海麻衣子さん

※字のバランス
と筆づかいに
気をつけて書
きました。力
を入れるこ
ろやぬく所が
むずかしかつ
たです。



短評
鈴木 甲子幸
東京に大空襲のありしとふ
玄海灘の戦場にて聞く

短評
鈴木 甲子幸

安田 和子 (作間内)
テレビ見つつ「昭和歌謡史なつメロ」に
越し方だぶりわが胸熱し
遠く過ぎ去った古き良き時代に胸
が高なる

越川 義則 (二又)
種まきを終わって日ざしの柔らかき
豊作願ひ妻は水まき
農作業の一大行事をすませほっと
一息

土屋 好 (虫生)
十年ぶり訪いくれし旧友懐かし
春の日永を語り尽くせず
つもる話しに春の日も暮れかかっ
てしまった

伊藤 定男 (尾垂)
数々の趣味に挑みてそれぞれの
友との出会いに老を忘るる
習字に短歌にゲートボールに挑戦
する作者の姿が若さの秘訣である

ひかり歌壇

